

2015年度
事業報告書
こころ
～ 笑顔のために ～

公益社団法人 十和田青年会議所



2015 年度
第 59 代理事長
蛭 沢 達 彦

スローガン

こころ

～ 笑 顔 の た め に ～

基本理念

自分、家族、仲間、地域。

大切なものに向き合えば、したいことが見えてくる。
心を込めて行動すれば、相手に届き、笑顔が生まれる。

笑顔は広がっていき、地域は明るくなる。

自分の「こころ」を信じ、あの人の「笑顔」のために歩もう。

基本方針

1. 人材育成
2. 公益事業の発展
3. 積極的な交流事業の開催
4. 対外事業への協力
5. 会員の拡大

～ 目 次 ～

・ 2015 年度 事業報告	4
・ 2015 年度 理事会開催報告	11
・ 月別活動報告（1 月～ 12 月）	15
・ 諸団体出向一覧表	22
・ 公益社団法人 十和田青年会議所 2015 年度組織図	23
・ 物故会員名簿	24
・ 卒業生挨拶	25
・ 挨拶	27
理事長、直前理事長、専務理事、副理事長、委員長	

※別紙（予算書）参照

2015年度事業報告

【庶務】2015年12月31日現在

- 1) 会員・正会員 40名 賛助会員 1名 特別会員 151名
- 2) 役員・理事長 1名 直前理事長 1名 副理事長兼室長 3名
専務理事兼事務局長 1名 財政局長 1名 理事総数 13名

【第5回定時総会】

◎平成27年2月27日（金）富士屋グランドホールに於いて次の事項を可決した。

《議案》

- 第1号議案 イ) 2014年度事業報告承認の件
ロ) 2014年度補正予算(案)承認の件
ハ) 2014年度収支決算報告承認の件
ニ) 2014年度監査報告の件
- 第2号議案 イ) 2015年度中間事業報告承認の件(1月9日まで)
ロ) 2015年度中間補正予算(案)承認の件(1月9日まで)
ハ) 2015年度中間収支決算報告承認の件(1月9日まで)
ニ) 2015年度中間決算監査報告の件(1月9日まで)
- 第3号議案 イ) 2015年度修正予算(案)承認の件
- 第4号議案 イ) 2015年度監事選任の件
- 第5号議案 イ) 2015年度理事者承認の件
- 第6号議案 イ) 2015年度公益社団法人組織図(案)承認の件について

【臨時総会】

◎平成27年4月20日（月）商工会館5階会議室に於いて次の事項を可決した。

《議案》

- 第1号議案 2013年度決算報告書修正(案)承認の件

【臨時総会】

◎平成27年7月15日（水）十和田富士屋ホテル太素の間Aに於いて次の事項を可決した。

《議案》

- 第1号議案 2016年度理事長候補者選任(案)承認の件

【臨時総会】

◎平成27年11月16日（月）商工会館5階会議室に於いて次の事項を可決した。

《議案》

- 第1号議案 2016年度理事候補者並びに暫定組織図(案)について
- 第2号議案 2013年度修正決算報告(案)について
- 第3号議案 2014年度修正決算報告(案)について
- 第4号議案 2015年度修正予算報告(案)について

【第6回定時総会】

◎平成27年12月15日（火）富士屋グランドホールに於いて次の事項を可決した。

《議案》

- 第1号議案 2016年度 基本計画(案)承認の件
- 第2号議案 2016年度 収支予算(案)承認の件

【褒章選考】

- 100%例会出席賞：高橋慶多、中谷武、国分聡、小笠原耕介、吉田敦
- 最優秀新人賞：吉田敦
- 優秀JC賞：笹淵峰尚
- 最優秀委員会賞：お祭り委員会
- 最優秀JC賞：小関教仁

【理事長特別賞】

- 理事長特別賞：中谷武、国分聡

1 月 事 業 報 告

月	日	時間	場 所	行 事 / 会 合	人 数
【日本・地区・ブロック】					
1	11	18:00	サンルート五所川原	五所川原JC新年祝賀会	蛭沢・舩館・宮内
1	17	18:30	ホテル青森	青森JC新年祝賀会	メンバー7名
1	28	18:30	きざん三沢	三沢JC新年会	メンバー8名
1	31	15:30	ホテルニューキャッスル	2015年度会員拡大セミナー	メンバー8名
1	31	18:00	ホテルニューキャッスル	青森ブロック新春名刺交歓会	メンバー11名
1	23~25	11:00~	国立京都国際会館	京都会議	蛭沢・舩館
1	29	16:00	AXISグランドサンピア八戸	八戸JC新年賀詞交歓会	メンバー8名

【LOM関係】

1	8	19:00	商工会館5F	定例理事会	メンバー10名
1	15	18:30	富士屋ホール2F	1月総会・新年祝賀会	メンバー22名 OB 27名

【対外団体】

1	5	17:30	富士屋ホテル	十和田市新年祝賀会	メンバー10名
1	23	18:00	サン・ロイヤル	十和田地区・市交通安全協会並びに交通指導隊の「合同新年会」	高橋
1	23	14:00	商工会館1F	十和田市中心街地活性化協議会	水尻
1	28	10:00	十和田市民文化センター	市制施行10周年記念式典及び祝賀会	蛭沢
1	28	14:20	東奥日報2F	B-1グランプリ実行委員会会議	蛭沢・丸井

2 月 事 業 報 告

月	日	時間	場 所	行 事 / 会 合	人 数
【LOM関係】					
2	3	19:00	商工会館4F	定例理事会	
2	19	19:00	南公民館	2月例会会員拡大セミナー	メンバー22名
2	27	18:30	富士屋グランドホール	第5回定時総会	メンバー20名 OB 7名

【対外団体】

2	4	9:40	十和田湖休屋冬物語特設会場	十和田湖冬物語2015 雪像制作	メンバー11名 オブザーバー3名
2	4	18:00	商工会館ロビー	とわだ雪見ラリー	メンバー19名
2	12	15:00	商工会館5F	十和田観光協会 第1回観光行事部会	蛭沢
2	21	18:00	富士屋グランドホール	田中順造氏「県褒章」並びに「自治功労」受賞を祝う会	高橋

3 月 事 業 報 告

月	日	時間	場 所	行 事 / 会 合	人 数
【日本・地区・ブロック】					
3	21・22	13:00	アップルコミュニケーションズA館 コミュニケーションプラザ1F	2015年度アカデミー大学開校式・第一講座	蛭沢

【LOM関係】

3	5	19:30	商工会館5F	3月定例理事会	
3	13	18:30	サン・ロイヤルとわだ	3月例会二青会	メンバー 25名 オブザーバー 29名

【対外団体】

3	12	10:00	十和田市民文化センター	学位記授与式	蛭沢
3	12	14:30	富士屋グランドホール	祝賀謝恩会	蛭沢
3	19	13:30	十和田市合同庁舎	平成26年度第3回奥入瀬溪流エコツーリズムプロジェクト実行委員会	蛭沢
3	10	14:00	東奥日報十和田支局2F	B-1グランプリin十和田実行委員会に係る作業部会	蛭沢
3	9	18:00	十和田商工会館5F	平成26年度秋祭り検討委員会全体報告会	蛭沢
3	19	17:00	サン・ロイヤルとわだ	十和田市観光協会 平成26年度第2回理事会	蛭沢
3	23	14:00	サン・ロイヤルとわだ	B-1グランプリin十和田実行委員会	蛭沢

4 月 事 業 報 告

月	日	時間	場 所	行 事 / 会 合	人 数
【日本・地区・ブロック】					
4	11	18:00	ホテルメトロポリタン山形	新・東北3つの夢 総決起大会	蛭沢・水尻
【LOM関係】					
4	3	19:00	商工会館5F	定例理事会	
4	14	19:00	市民文化センター	4月例会JCスクール	メンバー27名
4	20	18:30	商工会館5F	臨時総会	メンバー17名
【対外団体】					
4	18	15:30	十和田市現代美術館	ジャンプ	蛭沢
4	28	15:00	十和田交通会館	十和田地区・市交通安全協会 合同役員会	蛭沢
4	28	13:30	JA十和田おいらせ本店	平成27年度十和田市町内会連合会 定例総会	蛭沢
4	30	14:00	十和田市中央病院さわらび会館	B-1グランプリ企画・広報部会	蛭沢
4	28	13:30	商工会館4F	十和田市観光協会 平成27年度道路使用関係イベント会議	高橋

5 月 事 業 報 告

月	日	時間	場 所	行 事 / 会 合	人 数
【日本・地区・ブロック】					
5	31	10:00	ホテルサンルート五所川原	JCプロトコル資質向上セミナー	メンバー6名
【LOM関係】					
5	11	19:00	商工会館5F	定例理事会	
5	17	8:00	東公民館	5月例会 職業体験学習	メンバー25名
5	29	18:30	サンロイヤルとわだ	やる気スイッチの入れ方とは	
【対外団体】					
5	3	17:00	太素塚境内	太素祭前夜祭	蛭沢
5	4	9:30	太素塚境内	太素祭式典	蛭沢
5	14	14:00	サンロイヤルとわだ	十和田市交通安全協会 理事会・定時総会	蛭沢
5	16	13:30	十和田市労働青少年ホーム 会議室	青少年育成十和田市民会議 第一回常任・推進委員会	高橋
5	16	14:00	十和田市労働青少年ホーム 会議室	青少年育成十和田市民会議 平成27年度総会	高橋
5	22	15:00	商工会館2F	平成27年度第一回 太素顕彰会定期総会	蛭沢
5	15	13:30	十和田市中央病院さわらび会館	B-1グランプリin十和田 協賛・ボランティア部会	蛭沢

6 月 事 業 報 告

月	日	時間	場 所	行 事 / 会 合	人 数
【日本・地区・ブロック】					
6	19	16:00	グリーンパレス松安閣	黒石青年会議所創立60周年記念式典及び祝賀会	
6	28	6:30	三沢米軍基地内	第24回シーサーオープンチャリティゴルフトーナメント	
【LOM関係】					
6	8	19:00	商工会館4F	6月定例理事会	
6	13	10:20	十和田市役所志道館	わんぱく相撲十和田場所	
6	25	18:30	市民交流プラザ	第一回JCスクール	
6	27	12:30	富士グランドホール平安の間	6月例会 地域の魅力発見事業	メンバー19名 一般24名
6	16	8:30	みちのく国際ゴルフ倶楽部	OB・現役合同チャリティゴルフコンペ&交流会	
【対外団体】					
6	2	15:00	富士屋グランドホール	十和田市観光協会 平成27年度第一回理事会	蛭沢
6	2	16:00	富士屋グランドホール	十和田市観光協会 平成27年度第一回通常総会	蛭沢
6	29	15:30	十和田市役所 新館5F	平成27年度第1回奥入瀬溪流エコツアーリズム プロジェクト実行委員会	蛭沢

7 月 事 業 報 告

月	日	時間	場 所	行 事 / 会 合	人 数
【日本・地区・ブロック】					
7	4・5	13:15	むつグランドホテル	第45回青森ブロック大会inむつ下北	
7	18・19	15:20	パシフィコ横浜	サマーコンファレンス2015	
【LOM関係】					
7	7	19:00	商工会館5F	7月定例理事会	
7	15	17:30	十和田富士屋ホテル	7月臨時総会	
【対外団体】					
7	1	15:00	十和田交通会館 二階会議室	十和田地区・市交通安全協会合同役員会	蛭沢

8 月 事 業 報 告

月	日	時間	場 所	行 事 / 会 合	人 数
【LOM関係】					
8	4	19:00	商工会館5F	8月定例理事会	
【対外団体】					
8	5	14:00	商工会館5F	平成27年度十和田市中心街地活性化協議会 第1回総会	蛭沢
8	2	8:30	御幸橋下流河川敷	第32回奥入瀬川クリーン作戦	
8	28	18:00	エビス	クリーン作戦企画会議	蛭沢

9 月 事 業 報 告

月	日	時間	場 所	行 事 / 会 合	人 数
【日本・地区・ブロック】					
9	25	15:00	八戸市公会堂	公益社団法人日本青年会議所 第149回総会	蛭沢
9	26	10:00	八戸市公会堂	第64回全国大会東北八戸大会 全国理事長パワーセッションⅣ	蛭沢
【LOM関係】					
9	12		十和田市官庁街	9月例会中日お祭り広場	
【対外団体】					
9	11・13	13:30	十和田商工会議所	十和田市秋祭り行列参加	蛭沢
9	4	13:30	市役所新館5F 会議室	B-1グランプリ 協賛・ボランティア部会	中谷・杉沢

10 月 事 業 報 告

月	日	時間	場 所	行 事 / 会 合	人 数
【LOM関係】					
10	16	19:00	IBIZA	10月例会セレモニー	
10	20	19:00	商工会館5F	10月定例理事会	
【対外団体】					
10	25	10:30	十和田富士屋 グランドホール	十和田稲生ライオンズクラブ 認証35周年記念式典	蛭沢
10	2	18:30	十和田市相撲場	B-1グランプリin十和田前夜祭	蛭沢
10	3・4		陸上競技場	B-1グランプリin十和田	

11 月 事 業 報 告

月	日	時間	場 所	行 事 / 会 合	人 数
【日本・地区・ブロック】					
11	9	9:00	石川県産業展示館	JCI世界会議金沢大会	蛭沢・丸井

【LOM関係】

11	16	18:30	商工会館5F	11月臨時総会	メンバー33名 OB 8名
11	18	19:00	商工会館4F	11月定例理事会	

12 月 事 業 報 告

月	日	時間	場 所	行 事 / 会 合	人 数
【日本・地区・ブロック】					
12	13	15:30		八戸JC卒業式	メンバー7名
12	23	18:00		三沢JC卒業式	メンバー11名

【LOM関係】

12	15	18:00	富士屋グランドホール	第6回定時総会	メンバー34名 OB16名
12	15	19:10	富士屋グランドホール	卒業式	メンバー39名 OB16名 各ロム30名

【対外団体】

12	2	15:30		サンタでトワイライト	蛭沢・水尻・阿部
12	18	13:30	文化センター	北方領土返還要求青森県民大会	メンバー5名

1月定例理事会 2015年1月8日(金) 19:00～ 十和田商工会館5階会議室

討議事項

- 1) 職業体験学習(案)について

協議事項

- 1) 第5回定時総会(案)について
- 2) 会員拡大セミナー事業(案)について
- 3) ホームページの管理・更新(案)について

審議事項

- 1) 会員拡大セミナー事業(案)承認の件
- 2) ホームページの管理・更新(案)承認の件

2月定例理事会 2015年2月3日(火) 19:00～ 十和田商工会館4階会議室

協議事項

- 1) 4月例会JCスクール開催(案)について
- 2) 第5回定時総会(案)について
- 3) 3月例会 次世代を担う青年の為の交流会(案)について
- 4) 2015年度会員拡大(案)について
- 5) 職業体験学習(案)について
- 6) 熊谷直人君 入会(案)について

審議事項

- 1) 第5回定時総会(案)承認の件
- 2) 第5回定時総会開催に伴う上程議案(案)承認の件
- 3) 3月例会 次世代を担う青年の為の交流会(案)承認の件
- 4) 2015年度会員拡大(案)承認の件
- 5) 熊谷直人君 入会(案)承認の件

3月定例理事会 2015年3月5日(木) 19:30～ 十和田商工会館5階会議室

協議事項

- 1) 特別会員通信発行(案)について
- 2) 職業体験学習(案)について
- 3) わんぱく相撲(案)について
- 4) 中日「お祭り広場」(案)について
- 5) リーダー人材育成研修事業(案)について
- 6) 栗山務さん仮入会(案)について
- 7) 井本幸佑さん仮入会(案)について
- 8) 相内純さん仮入会(案)について
- 9) 田中裕子さん仮入会(案)について
- 10) 4月例会 JCスクール開催(案)について

審議事項

- 1) 特別会員通信発行(案)承認の件
- 2) 職業体験学習(案)一部承認について
- 3) 中日「お祭り広場」(案)一部承認について
- 4) リーダー人材育成研修事業(案)一部承認について
- 5) 栗山務さん仮入会(案)承認の件
- 6) 井本幸佑さん仮入会(案)承認の件
- 7) 相内純さん仮入会(案)承認の件
- 8) 田中裕子さん仮入会(案)承認の件
- 9) 4月例会 JCスクール開催(案)承認の件

4月定例理事会 2015年4月3日(金) 19:30～ 十和田商工会館5階会議室

協議事項

- 1) 十和田市秋まつり中日「お祭り広場」協賛依頼(案)について
- 2) 秋まつり中日お祭り広場 公式キャラクターを使った十和田の魅力発信事業
- 3) 職業体験学習(案)について
- 4) わんぱく相撲(案)について
- 5) 60周年準備事業(案)について
- 6) 6月例会 地域の魅力発見事業(案)について

審議事項

- 1) リーダー人材育成研修事業(案)承認の件
- 2) 4月臨時総会開催(案)承認の件
- 3) 栗山務さん入会(案)承認の件
- 4) 井本幸佑さん入会(案)承認の件
- 5) 相内純さん入会(案)承認の件
- 6) 田中裕子さん入会(案)承認の件
- 7) 樋口由美子さん仮入会(案)承認の件
- 8) 高崎美樹さん仮入会(案)承認の件
- 9) 田中泰朗さん仮入会(案)承認の件
- 10) 岡山拓也さん仮入会(案)承認の件
- 11) 職業体験学習(案)承認の件
- 12) わんぱく相撲(案)について

5月定例理事会 2015年5月11日(月) 19:30～ 十和田商工会館5階会議室

協議事項

- 1) 6月例会 地域の魅力発見事業(案)について
- 2) 7月臨時総会 (案)について
- 3) 選挙管理委員会設置(案)について

審議事項

- 1) 十和田市秋まつり中日「お祭り広場」協賛依頼(案)について
- 2) 秋まつり中日お祭り広場 公式キャラクターを使った十和田の魅力発信事業
- 3) 新年祝賀会 収支決算報告(案)について
- 4) 2月例会 会員拡大セミナー 収支決算報告(案)について
- 5) 第5回定時総会 収支決算報告(案)について
- 6) 樋口由美子さん入会(案)承認の件
- 7) 高崎美樹さん入会(案)承認の件
- 8) 田中泰朗さん入会(案)承認の件
- 9) 山端博さん仮入会(案)承認の件
- 10) 阿部拓臣さん仮入会(案)承認の件
- 11) 選挙管理委員会設置(案)について
- 12) 6月例会 地域の魅力発見事業一部(案)について

6月定例理事会 2015年6月8日(月) 19:30～ 十和田商工会館4階会議室

討議事項

- 1) 十和田市秋まつり中日「お祭り広場」(案)について

協議事項

- 1) 8月例会 地域交流事業(案)について
- 2) 6月例会 地域の魅力発見事業(案)について
- 3) 3月例会 地域交流事業「二青会」決算報告(案)について
- 4) 新年祝賀会 収支決算報告(案)について
- 5) 7月臨時総会(案)について
- 6) 2016年度 理事長立候補公示(案) について
- 7) 山端博君入会(案)について
- 8) 阿部拓臣君入会(案)について
- 9) 岡山拓也君入会(案)について
- 10) 山内豪士様仮入会(案)について
- 11) 千葉千絵様仮入会(案)について
- 12) 成田啓一様仮入会(案)について

審議事項

- 1) 6月例会 地域の魅力発見事業(案)承認の件
- 2) 3月例会 地域交流事業「二青会」決算報告(案)承認の件
- 3) 新年祝賀会 収支決算報告(案)承認の件
- 4) 7月臨時総会(案)承認の件
- 5) 2016年度 理事長立候補公示(案) 承認の件
- 6) 山端博君入会(案)承認の件
- 7) 阿部拓臣君入会(案)承認の件
- 8) 岡山拓也君入会(案)承認の件
- 9) 山内豪士様仮入会(案)承認の件
- 10) 千葉千絵様仮入会(案)承認の件
- 11) 成田啓一様仮入会(案)承認の件
- 12) その他

7月定例理事会 2015年7月7日(火) 19:30～ 十和田商工会館5階会議室

協議事項

- 1) 4月例会 JCスクール 決算報告書(案)について
- 2) 十和田市秋まつり「中日お祭りひろば」開催(案)について
- 3) 秋まつり中日公式キャラクターを使った十和田の魅力発信事業
- 4) 青少年育成事業 職業体験事業決算報告書(案)について
- 5) 8月例会 地域交流事業(案)について
- 6) (公社)日本青年会議所全国大会in東北八戸大会との連携事業
- 7) 地域の魅力普及啓発事業
- 8) リーダー人材育成セミナー 決算報告書(案)について
- 9) 山内豪士君入会(案)について
- 10) 千葉千絵君入会(案)について
- 11) 成田啓一君入会(案)について
- 12) 小笠原大地君入会(案)について
- 13) 下川原勝義様仮入会(案)について
- 14) 修正予算(案)について

審議事項

- 1) 4月例会 JCスクール 決算報告書(案)承認の件
- 2) 秋まつり中日公式キャラクターを使った十和田の魅力発信事業(案)承認の件
- 5) リーダー人材育成セミナー 決算報告書(案)承認の件
- 6) 山内豪士君入会(案)承認の件
- 7) 千葉千絵君入会(案)承認の件
- 8) 成田啓一君入会(案)承認の件
- 9) 小笠原大地君入会(案)承認の件
- 10) 下川原勝義様仮入会(案)承認の件
- 11) 修正予算(案)承認の件

8月定例理事会 2015年8月4日(火) 19:30～ 十和田商工会館5階会議室

協議事項

- 1) 十和田市秋まつり「中日お祭りひろば」開催(案)について
- 2) 青少年育成事業 職業体験事業決算報告書(案)について
- 3) 8月例会 「集まれ次世代!地ビール交流会 in 奥入瀬」開催(案)について
- 4) 10月例会 B-1グランプリおもてなし事業開催(案)について

審議事項

- 1) 十和田市秋まつり「中日お祭りひろば」開催(案)承認の件
- 2) 青少年育成事業 職業体験事業決算報告書(案)承認の件
- 3) 8月担当例会 「集まれ次世代!地ビール交流会 in 奥入瀬」開催(案)承認の件
- 4) 10月例会 B-1グランプリおもてなし事業開催(案)一部承認の件

9月定例理事会 2015年9月3日(木) 19:30～ 十和田商工会館5階会議室

協議事項

- 1) 中日お祭りひろば開催(案)について
- 2) 10月例会 B-1グランプリおもてなし事業開催(案)について
- 3) 十和田青年会議所60周年準備事業開催(案)について
- 4) 6月例会地域の魅力発見事業決算報告(案)について
- 5) 八戸全国大会連携事業開催(案)について
- 6) 地域の魅力発見事業(2)開催(案)について
- 7) 11月例会臨時総会開催(案)について

審議事項

- 1) 中日お祭りひろば開催(案)承認の件
- 2) 10月例会 B-1グランプリおもてなし事業開催(案)承認の件
- 4) 6月例会地域の魅力発見事業決算報告(案)承認の件
- 5) 八戸全国大会連携事業開催(案)承認の件
- 6) 地域の魅力発見事業(2)開催(案)承認の件

10月定例理事会 2015年10月20日(火) 19:30～ 十和田商工会館5階会議室

協議事項

- 1) 60周年準備事業(案)について
- 2) 第6回定時総会開催(案)について
- 3) 2015年度卒業式開催(案)について
- 4) 褒章特別委員設置・運営(案)について
- 5) 特別会員通信11月号発刊(案)について
- 6) 11月例会臨時総会開催(案)について
- 7) 11月臨時総会提出上程議案(案)について
- 8) 7月臨時総会決算報告書(案)について
- 9) わんぱく相撲決算報告書(案)について
- 10) 月岡涼君入会(案)について
- 11) 似鳥友理君入会(案)について
- 12) 谷島明裕君入会(案)について
- 13) 石川隆大様仮入会(案)について

審議事項

- 1) 11月例会臨時総会開催(案)承認の件
- 2) 11月臨時総会提出上程議案(案)について
- 3) 7月臨時総会決算報告書(案)承認の件
- 4) わんぱく相撲決算報告書(案)承認の件
- 5) JCI世界会議(金沢)旅費議案(案)承認の件
- 6) 月岡涼君入会(案)承認の件
- 7) 似鳥友理君入会(案)承認の件
- 8) 谷島明裕君入会(案)承認の件
- 9) 石川隆大様仮入会(案)承認の件

11月定例理事会 2015年11月18日(火) 19:30～ 十和田商工会館4階会議室

協議事項

- 1) 9月例会中日お祭り広場決算報告(案)について
- 2) 公式キャラクターを使った魅力発信事業決算報告(案)について
- 3) 8月例会 地ビール交流会事業決算報告(案)について
- 4) (公社)日本青年会議所全国大会in東北八戸大会との連携事業 収支決算報告(案)について
- 5) 10月例会B-1グランプリ支援決算報告書(案)について
- 6) 会員褒章委員会設置・運営(案)について
- 7) 事業報告書作成(案)について
- 8) 第6回定時総会開催(案)について
- 9) 2015年度卒業式開催(案)について
- 10) 特別会員通信11月号発刊(案)について
- 11) 60周年準備事業(案)について
- 12) 公益社団法人格の維持・継続(案)について
- 13) 石川隆大君入会(案)について
- 14) 佐々木智章君 退会(案)について

審議事項

- 1) 9月例会中日お祭り広場決算報告(案)承認の件
- 2) 公式キャラクターを使った魅力発信事業決算報告(案)承認の件
- 3) 8月例会 地ビール交流会事業決算報告(案)承認の件
- 4) (公社)日本青年会議所全国大会in東北八戸大会との連携事業 収支決算報告(案)承認の件
- 5) 10月例会B-1グランプリ支援決算報告書(案)承認の件
- 6) 会員褒章委員会設置・運営(案)承認の件
- 7) 事業報告書作成(案)承認の件
- 8) 第6回定時総会開催(案)承認の件
- 9) 2015年度卒業式開催(案)承認の件
- 10) 特別会員通信11月号発刊(案)承認の件
- 11) 60周年準備事業(案)承認の件
- 12) 公益社団法人格の維持・継続(案)承認の件
- 13) 石川隆大君入会(案)承認の件
- 14) 佐々木智章君 退会(案)承認の件

12月臨時理事会 2015年12月11日(木) 19:30～ 十和田商工会館4階会議室

協議事項

- 1) 2015年度第8回定時総会提出議案上程 第1号議案 2016年基本計画(案)について
- 2) 2015年度第8回定時総会提出議案上程 第1号議案 2016予算計画(案)について
- 3) 2016 新年祝賀会開催(案)

審議事項

- 1) 2015年度第8回定時総会提出議案上程 第1号議案 2016年基本計画(案)について
- 2) 2015年度第8回定時総会提出議案上程 第1号議案 2016予算計画(案)について
- 3) 2016年度新年祝賀会開催(案)

12月定例理事会 2015年12月17日(木) 19:30～ 十和田商工会館5階会議室

協議事項

- 1) 2015年度60周年記念準備決算報告(案)
- 2) 2016年度60周年記念事業開催(案)について
- 3) 会員拡大事業決算報告(案)について
- 4) 公益法人格の維持・継続決算報告(案)について
- 5) 地域の魅力普及啓発事業決算報告書(案)について
- 6) 2016年度 新年祝賀会開催(案)について
- 7) 米内山和正様仮入会(案)について
- 8) 漆館保君 退会(案)について

審議事項

- 1) 2015年度60周年記念準備決算報告(案)
- 2) 2016年度60周年記念事業開催(案)について
- 3) 会員拡大事業決算報告(案)について
- 4) 公益法人格の維持・継続決算報告(案)について
- 5) 地域の魅力普及啓発事業決算報告書(案)について
- 6) 2016年度 新年祝賀会開催(案)について
- 7) 米内山和正様仮入会(案)について
- 8) 漆館保君 退会(案)について

12月第2回臨時理事会 2015年12月28日(月) 19:30～ トワーレ 第一多目的室

協議事項

- 1) 11月例会 11月臨時総会開催収支決算報告書(案)について
- 2) 12月例会 第6回定時総会開催収支決算報告書(案)について
- 3) 2015年度 卒業式開催収支決算報告書(案)について
- 4) ホームページの公開・管理・更新 収支決算報告書(案)について
- 5) 特別会員通信作成・発行 収支決算報告書(案)について
- 6) 2015 会員褒章事業 収支決算報告書(案)について
- 7) 2015 事業報告書作成 収支決算報告書(案)について
- 8) 苧坪健太郎君退会(案)について

審議事項

- 1) 11月例会 11月臨時総会開催収支決算報告書(案)承認の件
- 2) 12月例会 第6回定時総会開催収支決算報告書(案)承認の件
- 3) 2015年度 卒業式開催収支決算報告書(案)承認の件
- 4) ホームページの公開・管理・更新 収支決算報告書(案)承認の件
- 5) 特別会員通信作成・発行 収支決算報告書(案)承認の件
- 6) 2015 会員褒章事業 収支決算報告書(案)承認の件
- 7) 2015 事業報告書作成 収支決算報告書(案)承認の件
- 8) 苧坪健太郎君退会(案)について

一月別活動報告

1月

スケジュール

- 8日(木) 1月定例理事会
- 15日(木) 特別会員総会
- 15日(木) 1月定例新年祝賀会
- 26日(月) 第2回常任理事会

1月担当例会 2015年度新年祝賀会

日時／2015年1月15日(木)

場所／富士屋グランドホール

参加因数／正会員24名 特別会員10名 来賓74名 来訪JC28名

担当委員会／総務局

【事業目的】

対外目的 正会員各自が、来賓・特別会員・来訪JC及び関係諸団体様に新年のご挨拶を行うことで、地域の皆様と良好な関係を築き、しいては、十和田青年会議所の魅力(個人の魅力から会議所の魅力へ繋げる)を伝えることを目的とする。

対内目的 正会員各自が、来賓の方と交流を深め、また、拡大への当事者意識をもつことを目的とする。

【事業目的達成の検証】

出席頂いたご来賓の皆様と親交を深めることができた。また、拡大における有益な情報を特別会員の方々から得ることができた。

【委員長所見】

今回、私は途中から準備に携わることができなく、当日も参加できませんでした。しかし、各メンバーの自主的な行動により無事開催できました。うまく事業途中での引き継ぎができなく、メンバーの皆様にご迷惑をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。

一月別活動報告

2月

スケジュール

- 3日(火) 2月定例理事会
- 4日(水) 十和田湖冬物語雪像作り助成
- 19日(木) 2月例会会員拡大セミナー
- 20日(金) 第3回常任理事会
- 27日(金) 第5回定時総会

2月担当例会 会員拡大セミナー事業

日時／2015年2月19日(木)

場所／十和田市南公民館

参加因数／24人(正会員22人、講師2人)

担当委員会／事務局

【事業目的】

対外目的 無し

対内目的 本事業は、正会員の一人ひとりに本会議所が置かれている厳しい状況をあらためて認識させ、危機感を植え付けるとともに、他会議所で行われた会員拡大の好事例を具体的に紹介することで、会員拡大に向けた機運の醸成を目的とする。

【事業目的達成の検証】

会員拡大に関する意識の高まり度合を評価指標とし、受講者の全てが関心の高まったことをもって目標達成とする。受講者アンケートの結果、受講者の全てが会員拡大への関心が高まったと答えていることから、目的は達成されたとと言える。達成した点 出席した会員については、意思統一がなされた。

達成しなかった点 100%の出席を得ることができなかった。

第5回定時総会開催

日時／2015年2月27日(金)

場所／富士屋グランドホール

参加因数／正会員20名 特別会員8名 計28名

担当委員会／総務局

【事業目的】

対外目的 無し

対内目的 総会の会場設営・運営を行う

【事業目的達成の検証】

目的達成の検証方法：休会員を除く、正会員が100%総会に出席し、意思統一がなされた時。

達成した点 出席した会員については、意思統一がなされた。

達成しなかった点 100%の出席を得ることができなかった。

一月別活動報告

3月

スケジュール

- 5日(木) 臨時常任理事会
- 5日(木) 3月定例理事会
- 13日(金) 3月例会二青会
- 19日(木) 第4回常任理事会

達成できなかった点

- ・予定していたオブザーバーの人数に達しなかった。

【委員長所見】

今回の事業はいかに拡大に繋がるかに主眼を置いて開催した。事業当日までバタバタしてしまったり、アトラクション等で不備はあったものの、参加したオブザーバーからは概ね好意的な意見が多かったため、開催出来て良かったと感じている。私自身本年度最初の交流事業だったので、この事業の成功の可否が、本年度の拡大を大きく左右するという気持ちで臨んだが、参加したメンバー全員が私と同じような気持ちで事業に取り組んでいる姿を見て、今後の拡大展開に対して大きな自信がつか形となった。

3月担当例会 次世代を担う青年のための交流会「二青会」

日時／2015年3月13日(金)

場所／サン・ロイヤルとわだ

参加 因数／54名(十和田市近郊の次期経営者候補または青年経済人29名と正会員25名)

担当委員会／拡大交流委員会

【事業目的】

対外目的 会員拡大を主な目的として、同世代の青年経済人の方々と交流をはかりながら青年会議所の魅力を発信し、理解を深めてもらい会員増強をはかる。

対内目的 会員拡大の機運を高め、また、オブザーバーに青年会議所の魅力を伝えることで自身の青年会議所運動に対する意識も向上させる。

【事業目的達成の検証】

達成した点

- ・多くのオブザーバーと交流を深めることが出来、その後の会員拡大に繋がった。
- ・メンバー一人ひとりが会員拡大の意識を強く持って事業に臨むことが出来た。

一月別活動報告

4月

スケジュール

- 3日(金) 4月定例理事会
- 14日(火) 4月例会JCSクール
- 20日(月) 第5回常任理事会
- 20日(月) 臨時総会

4月担当例会 JCSクール

日時／2015年4月14日(火)

場所／市民文化センター

参加 因数／26名(正会員26名)

担当委員会／総務局

【事業目的】

対外目的 無し

対内目的 今年度は(公社)日本青年会議所全国大会in東北八戸大会やB-1グランプリin十和田など大きな大会や催しが物開催されるため、例年より多くの活動量が必要となる。少ないメンバーでも今年度を充実させるために、メンバー一人ひとりが考え自発的に行動しJCだけではなく仕事、家族を含めバランスよくJC活動が出来るようにする。

【事業目的達成の検証】

達成した点

- ・入会年数の若いメンバーを中心にJC活動への意欲の向上が見られた。

達成できなかった点

- ・時間的な制約もあり深く納得させるところまではいかなかった。

【委員長所見】

当初予定していた講師を変更して佐藤会長にお願いして来ていただき、予算や時間等無理なお願いを聞いていただきましたが、高いクオリティのお話をいただきました。ただ、地区会長として立場から本来の普段よりも控えめな表現が多かったが、多くのことを伝えようと懇親会にまで参加いただいた佐藤会長には感謝のことばしかありません。

設営、運営では会場の照明がうまく調整できないなどのトラブルがありましたがほぼ時間通り終えることが出来ました。

地区会長のお話を近くで聞き、懇親会でご一緒できる場を設けることが出来たのはよかったが、こちらの意図を理解していただきもう少し内容に反映させてもらうために打合せに時間を割くこと必要があったのではないかと思います。

一月別活動報告

5月

スケジュール

- 11日(月) 5月定例理事会
- 17日(日) 5月例会職業体験事業
- 25日(月) 第6回常任理事会
- 29日(金) 人材育成セミナー
やる気スイッチの入れ方とは

5月担当例会 職業体験事業

日時／2015年5月17日(日)

場所／十和田市東公民館

参加因数 / 170名 小学生:50名 保護者:50名 外部協力者:40名 正会員:30名
担当委員会／青少年育成委員会

【事業目的】

対外目的 職業体験の場を通じて生徒が実際的な知識や技能に触れる事により職業に対しての興味や働く事に対しての喜びや意欲を育み、さらには自分の良さに気付きを得て、新しい事へ挑戦する気持ちそして生きる事への喜びや希望など子供一人一人の健全な感性や職業観そして成長力を養います。(協力業者様)子供・若者を受け入れることで、自分たちの職場を新鮮な目で見直すことができます。社内の活性化は勿論のこと社員一人一人のモチベーションの向上にも繋がります。

対内目的 協力業者様と共に職業体験を開催し、子供たちに夢や希望を与えることで、十和田青年会議所の存在や意義を改めて感じることで、会員一人一人の今後におけるJC活動への意欲の向上を図ります。

【事業目的達成の検証】

(達成した点・参加者)

職業体験事業の場を通じて生徒が実際的な知識や技能に触れ様々な種類の仕事を体験した事により仕事に対する考え方や、自分の良さに気付く事が出来たと感じております。「働く事は大変ではあるが、汗を流し、一つの仕事に取り組むという事は楽しい事であります。また新しい事にも挑戦してみたい」など参加した子供達には素晴らしい意見が多数見られました。さらには体験時に業者様や、その親に自分の仕事を褒められることにより、自分の良さに気付きを得て、新しい事へ挑戦する気持ちそして生きる事への喜びや希望など子供一人一人に大きく与える事が出来ました。今回の体験を通じて、子供達の自尊心や自己肯定感における部分を、大きく成長させる事が出来たと思います。

(達成した点・協力業者様)

子供たち(参加小学生)を受け入れることで、自分たちの職場を新鮮な目で見直すことができます。社内の活性化は勿論のこと社会貢献の一環として取り組むことにより、社員一人一人のモチベーションの向上にも繋がります。事業実施後、業者様に頂いた意見として、今回職業体験で子供達に職業体験の講師をした事が実際に職場での新入社員教育において企業の価値観を伝える意味で非常に役に立っているとの見解も頂きました。企業ではこのような社会貢献をする場に携わることにより自社の新たな価値を創造する場となるようです。このようなことから各企業様の職場において活性化にもなり社員のモチベーションの向上にも繋がったと思います。

※上記の検証より、今回の事業目的の部分では概ね達成されたのではないかと思います。

【委員長所見】

今回の職業体験学習に至っては、9業種の事業所に協力を頂き内容の充実した職業体験とすることが出来ました。

参加した子供たちは実際的な仕事を体験する事により初めて体験する仕事において楽しみながらも一生懸命、体験学習に取り組んでおりました。子供たちの仕事への姿勢は熱心でその表情は我々大人にも改めて仕事をする事の素晴らしさを教えてくれたと思います。こどもたち一人一人が自分の親や、業者の方々から自分の仕事を評価して褒められる事でそれぞれの自己肯定感や自尊心(新しい事に挑戦する気持ちや、自身の将来への希望)を養い、更には自分自身の大きな可能性に気付く事が出来たのではないかと思います。今回の職業体験学習を通じて子供たちは自分の良さに気付き明日への希望を持つ事が出来たのではないかと感じております。子供達の可能性は無敵大ではありますが、その無限を引き出す機会を与えてくれた協力事業所様はじめ、十和田青年会議所メンバーの一人一人に深く感謝と敬意を表しまして委員長所見と致します。

一月別活動報告

6月

スケジュール

- 8日(月) 6月定例理事会
- 13日(土) 6月例会地域の魅力発見事業
- 13日(土) わんぱく相撲十和田場所
- 16日(火) O・B・現役合同チャリティゴルフコンペ&交流会
- 23日(火) 第7回常任理事会

地域の魅力発見事業

日時/2015年6月27日(土)
場所/富士屋グランドホール
参加因数 /正会員:20名+(公欠4名) 64.8% 一般市民:34名
27.6%
担当委員会/地域連携委員会

【事業目的】

対外目的 十和田市の魅力や地域文化について改めて学ぶことにより、地域の魅力を再発見・再認識し、積極的に発信していけるような意識を持ってもらう事を目的とする。

対内目的 十和田市の魅力を再発見・再認識することにより十和田市秋まつり、「第64回(公社)日本青年会議所 全国大会 東北八戸大会」や「B-1グランプリ in 十和田」開催時等、各地の方々と交流する際に積極的に十和田市の魅力を発信できる人材の育成を目的とする。

【事業目的達成の検証】

<事業目的に達成した点>

講師の桜田マコト氏が作成した資料と講演内容が非常に分かりやすく地域の魅力について伝わるものであった。

意識の変革についての話が非常に興味深く、参加された方々が今後積極的に地元の魅力を発信していけるような意識を持つことが出来たと思われる。また、

アンケートの集計結果からも概ね目的は達成出来たと感じました。

<達成しなかった点>

各地の方々と交流する際に積極的に十和田市の魅力を発信できる人材の育成を目的としましたが、参加員数計画には程遠い参加人数結果となってしまい、人材育成の人数としては達成出来たとは言えない結果となってしまいました。

【委員長所見】

(委員長)

今回私は当日出席することができませんでした。

生憎の雨で客足が伸びなかったため目標員数には届かせることができなかったのですが、それでもメンバーの方々の多数のお声掛けのおかげで盛大に開催することができました。

この場を借りて厚くお礼申し上げますとともに、集客事業の難しさを痛感させられ、反省もしております。

この反省基に今後の事業につなげていきたいと思っております。

(副委員長)

初めて講演会の司会をさせていただき 貴重な体験本当にありがとうございました。

120%の準備しておりましたが70%位しか発揮出来ませんでした。

終わってみての感想ですが、悔しい想いでいっぱいです。

もっと早く動けたと思いますもっと色々な人に声をかけられたと思います。

誰かがやってくれるだろうと思うのは大間違いであり自分でやるのだとつくづく感じました。

反省点が沢山あり色々な意味で勉強になる講演会でした。

一月別活動報告

7月

スケジュール

- 7日(火) 7月定例理事会
- 15日(水) 7月例会臨時総会
- 21日(火) 第8回常任理事会

7月担当例会 7月臨時総会

日時/2015年7月15日(水)
場所/富士屋ホテル
参加因数 /正会員31名、特別会員185名中12名 計43名
担当委員会/総務局

【事業目的】

対外目的 2016年度も特別会員の皆様にご指導・ご支援を頂くために次年度理事長の選任について賛同を得る必要がある。特別会員の皆様からの賛同を得るため、次年度理事長候補者の理事長へかける熱い志を表明する場として本総会を開催する。

対内目的 2016年度の理事長を選任するにあたり、次年度の青年会議所の方向性を決める重要案件について、正会員各自が責任をもった決議をするために、候補者の意思を確認する場として本総会を開催する。

【事業目的達成の検証】

達成した点 次年度理事長候補者の思いが会員・特別会員へ伝わった。

達成しなかった点 議題決定スケジュールの把握が足りなかった。

【委員長所見】

総会運営という点については、議題の上程スケジュールの把握ができておらず、スムーズだったとは言えないが、次年度理事長候補者の挨拶は非常に素晴らしかった。また、懇親会の場では、メンバーと新人の挨拶周りの動きや、先輩方の挨拶内容が素晴らしかったため、中だるみしない懇親会を運営することができた。

一月別活動報告

8月

スケジュール

- 2日(月) わんぱく相撲 全国大会
- 2日(月) 奥入瀬クリーン作戦助成
- 4日(火) 8月定例理事会
- 19日(水) 第9回常任理事会
- 27日(木) 8月例会集まれ次世代！
地ビール交流会 in 奥入瀬

8月担当例会 集まれ次世代！地ビール交流会 in 奥入瀬

日時／2015年8月27日(木)
場所／奥入瀬麦酒館
参加因数／メンバー21名、一般参加者14名、計35名
(参加率：メンバー47% 一般参加者35%)
担当委員会／拡大交流委員会

【事業目的】

対外目的

我々青年会議所が、地域に住む同世代の若者同士が様々な人々と積極的に交流する場を提供することにより、地域が進むべき明るい未来を共に見つけられるチャンスが広がるため。また、本事業を通じて、青年会議所という存在をより身近に感じてもらうこと、しっかりとした設えや運営をオブザーバーに示すことにより、この地域の未来に必要な団体だと感じてもらうため。

対内目的

オブザーバーを自発的にもてなし、且つオブザーバーとの交流を楽しみながら地域の未来を共に考えることにより、会員としての資質を高めることが出来る。また、青年会議所の魅力を発信し、会員拡大につなげるため。

【事業目的達成の検証】

事業目的を達成した点

①市街地に暮らす若者が普段なかなか利用出来ない奥入瀬麦酒館で開催したおかげで、新鮮な雰囲気でおブザーバーと交流を図れた。

事業目的を達成しなかった点

- ①広報活動を疎かにしたせいもあり、参加者が集まらなかった。
- ②参加者が少なかったため拡大に繋がらなかった。(新たな候補者も見つけられなかった)
- ③地域の未来を語る場面が少なかった。
- ④設えや運営も満足なものだったとは言えず、青年会議所の魅力を伝えられなかった。
- ⑤この事業をきっかけにして新入会員を増やすことが出来なかった。

【委員長所見】

今回は諸事情で事業決定まで時間を要してしまったものもあるが、参加者集めにおいて委員長である私が周知活動を怠り、期待していた人数を集めることが出来なかった。思い描いていたのは大人数による交流によって、無理に拡大色を強めなくても会員拡大に繋がるような事業だったので、それが達成出来なくて非常に悔しい思いをした。また、参加者が少人数にとどまったことで、多くの交流を望んで参加したメンバーやオブザーバーの期待を裏切る形になり、非常に申し訳なく感じている。やはり、計画段階で完成形を十分に思い描けないまま事業開催に至ってしまったことが、今回の失敗の大きな要因の一つになってしまったと考えられる。今後はこの失敗を糧に、メンバーの大事な年会費を預かって事業を行っているという責任感をより強く持ち、一つひとつの事業を強い気持ちで計画・開催していく事を心掛けたい。

わんぱく相撲十和田場所

日時／第31回わんぱく相撲十和田場所：2015年6月13日(土)

第31回わんぱく相撲全国大会：2015年8月2日(日)

場所／第31回わんぱく相撲十和田場所：十和田市志道館相撲場

第31回わんぱく相撲全国大会：両国国技館

参加因数／第31回わんぱく相撲全国大会十和田場所(小学生：7名)第31回わんぱく相撲全国大会(小学生：3名)

担当委員会／青少年育成委員会

【事業目的】

対外目的

「わんぱく相撲」を開催する事で、子供達に夢を与え、目標達成を支援することを目的とする。スポーツとしての相撲を通じ、礼を学び、努力する事、そして思いやりの心を育み、子供達の心身を強く推進する事が出来ると考えます。

対内目的

子供達とわんぱく相撲を通じて練習や大会を共に過ごす事により「礼」「思いやり」「努力」「諦めない気持ち」など日常生活では忘れていた部分を改めて肌を通して感じる事により、青少年育成をするべきことの意義を見出す。

【事業目的達成の検証】

今回は十和田市から2名三戸町から1名の代表選手を全国大会に輩出しましたが、それぞれが毎週行われる厳しい練習に耐えそこで培った力や自信を持ち「第31回わんぱく相撲全国大会」に臨みました。参加した選手それぞれ最後まで諦めず、全身全霊で試合に臨むことで、両国国技館で相撲を取れる事の喜びや親への感謝、そして相手を敬う事の大切さを大きく学べたのではないかと思います。それぞれの試合の結果こそは残念ではありましたが、自身と向き合う貴重な機会を与えた事により「礼・思いやり・努力・最後まで諦めない精神」を学ぶことが出来たと思います。この事から本事業の目的は概ね達成されたと検証致します。

【委員長所見】

これまで道場で厳しい練習を生徒たちはして参りましたが、毎日の練習で培った、最後まで諦めず戦い抜く気持ちや、たとえ勝利したとしても相手を思いやり敬う気持ちをもって3名の選手は全国大会に挑みました。全国大会前日は相撲部屋に宿泊をする事で現役の力士や他青年会議所のわんぱく力士との団体生活も経験しました。相撲部屋の宿泊では他県のわんぱく力士と時間を共にすることでお互いに協力をする精神を学び、8月2日に開催された第31回わんぱく相撲全国大会では相撲の聖地ともいえる両国国技館の土俵にて相撲を取る事で会場でしか感じる事が出来ない緊張感や感動を一人一人が感じておりました。結果こそ残念ではありましたが、子どもたちが最後まで諦めずに精一杯自分なりに戦ったことでまた新たに挑戦する気持ちや、やれば出来るという気持ちも与える事が出来たのではないかと思います。

一月別活動報告

9月

スケジュール

- 3日(木) 9月定例理事会
- 12日(土) 9月例会会中のお祭り広場
- 15日(火) (公社) 日本青年会議所全国大会 in 東北八戸大会との連携事業
- 29日(火) 第10回常任理事会

第45回十和田市秋まつり中日「お祭り広場」プロデュース

日 時 / 2015年9月12日(土)
場 所 / 十和田市官庁街通・十和田市相撲場
参加人数 / 市民・観光客約11万人
担当委員会 / お祭り委員会

【事業目的】

対外目的

十和田市の代表的なお祭りである『秋まつり』を運営することによって、市民や訪れた観光客に対し十和田の伝統文化である、お祭り・十和田囃子の魅力を大いに伝え、地域の文化と芸術を広く発信し、文化芸術振興に貢献する。

対内目的

中日「お祭り広場」を運営するにあたり、準備段階でのご協賛金を頂く作業や当日の動き、役割等、全メンバーに広く協力してもらい、中日「お祭り広場」というビッグイベントを、各メンバーが与えられた役割をこなすことで個々の事業に対するスキルを上げてもらい、更にはメンバー間の結束や絆を生み、LOMとしてより強固なLOMへとパワーアップすることで、LOMにとっても各メンバーにとっても成長に大きく繋がり、今後様々な効果を生み出すと考えます。

【事業目的達成の検証】

秋祭りの運営をすることによって、市民に十和田の伝統文化であるお祭り・

十和田囃子の魅力を伝えることができました。また、地域の文化と芸術を広く発信することができ、文化芸術振興に貢献することができました。今年度も外部の意見を聞き協議する場として企画会議を行い、3年前に誕生した十和田青年会議所公式キャラクター「ウマジン」で十和田秋まつりのPRを行い、参加型のお祭りとしても楽しめるよう企画実行し、過去最多の110名を集めることができました。

目的は達成しましたが、さらに動員数を増やすための工夫が必要です。今年もポスター作成・ホームページ・メディア・Facebook含むSNSなどの利用が後手に回りました。対外発信についてを部分審議し、先手を打つことで十和田市へ来ていただけの方を増やすことができると思います。アンケートに置いて、4番と5番の文化推進に寄与しているかという部分の「思う」回答率が共に80%を越えている。

【委員長所見】

今年度の中日「おまつり広場」は、夜間運行時に本部前で喧嘩太鼓を試みたことと、拡大が大成功し、中日の運営に関して現メンバーと新メンバーが上手く融合出来るか？この2点が最大のポイントだったと思います。運行に関しては、山車待機場所へ移動(17時)からどんどん時間が押していき、ベテランメンバーをもってしても時間ギリギリとなりましたので、来年度は十分に注意してほしいと思います。時間こそギリギリでしたが、本部前の盛り上がり、お客さんの数は最高だったと思います。これを新たな第一歩とし今後は少しずつ発展させていけたらと思います。新旧メンバーの融合に関しても各パートにベテランリーダーを必ず配置し、各パートでリーダーを中心に動くことに成功したと思いますが、後かたづけの計画性が薄く、ベテランメンバーの経験や勘に頼り過ぎたことは大変反省しなくてはならないと思います。反省点をしっかり引き継ぎ事項に記入し、次年度へバトンタッチしたいと思います。今年は競演会、運行共に参加団体が19団体と昨年に比べて2団体も多く、タイムスケジュール調整やスケジュール通り運営できるのか？と懸念材料が多かったですが、各参加団体の協力もありましてそこはほぼ問題なく進行することができたので良かったです。予算上では大口協賛や新規協賛企業を獲得したことにより予想よりも余裕ができ、いろいろな備品等を購入、新調することができました。いろいろ試みた年でしたが、安心安全なお祭りを運営するを最前提に置き、事件事故等なく終えたことは大変安心しました。

一月別活動報告

10月

スケジュール

- 3日(土) 第10回ご当地グルメでまちおこしの祭典! B-1グランプリ in 十和田支援事業
- 4日(日) 第10回ご当地グルメでまちおこしの祭典! B-1グランプリ in 十和田支援事業
- 16日(金) 10月例会セレモニー
- 20日(火) 臨時常任理事会
- 20日(火) 10月定例理事会

10月担当例会 第10回ご当地グルメでまちおこしの祭典! B-1グランプリ in 十和田支援事業

日 時 / 第10回ご当地グルメでまちおこしの祭典! B-1グランプリ in 十和田支援事業 成27年10月3日(土)、4日(日)
10月例会セレモニー 平成27年10月16日(金)
場 所 / 支援事業 十和田市中央公園会場と商店街会場
・十和田市中央公園会場は陸上競技場・中央公園緑地会場
・野球場会場中央駐車場会場
・商店街会場には、商店街会場・アートステーショントワダ会場
参加人数 / : 31名 オブザーバー4名
担当委員会 / 事務局

【事業目的】

対外目的

一番の目的は「来場者をおもてなしすること」であります。若い世代の我々がまちおこしイベントであるB-1グランプリに参加協力し、盛り上げることで地域の魅力を感じてもらおう。理事長所信にもある十和田青年会議所の「こころ」を見せてやりましょう!

対内目的

目的は「おもてなしを学ぶこと」です。B-1グランプリ in 十和田においてボランティアスタッフとして、実際にスタッフとして経験し学んで頂き、おもてなしを学ぶことで今後の事業にも活かす、地域の魅力を発信する一助となる事業です。

【事業目的達成の検証】

①全てのメンバーにいずれか1日だけでも参加して頂き、100%の参加率を目指します。

・全員に直接電話する等の対策は出来る限りは取ったが、79.16%と達成にはいたらなかった、9月・10月のタイトなスケジュールは意外に影響していなかったと見ております。また、会社で参加1名(阿部君)・ブース出展1名(小関君)といった要素も含まれております。後は、運営上においては交代等が出来て、1日中作業が必須ではなかったら、もう少し来る事が出来る人も増えたかもしれないのかなというところを感じます。

②後日、メールでアンケートを取り 80%のおもてなしを学べたというアンケート結果を目指しております。

・72%学べたと解答があり残りの28%もやや学べたとなっております。

また、80%以上を確保できなかったものの、学べなかったという解答が無かった事をみると、事業の目的としてはメンバー全員完璧ではないが、達成はしたのではないかと判断しております。

【委員長所見】

まずは、本当に忙しいスケジュールの中、無理をして参加をいただいたメンバーには本当に感謝しております。他団体が運営する事業のボランティア参加ということで、一度登録したら代わりが必ず必要という事に後から気づき、その対応で四苦八苦した事業になりました。それでも十和田市の歴史に残る数値を出した（2日間の合計の来場者数は、334,000人）事業に参加できるとも誇りに感じたと同時に、皆様におかれてもおもてなしを学ぶことにより十和田青年会議所の今後の事業の参考になったと思います。

アンケート結果にもありますように事業についての評価がとても良い50%、やや良い33%、普通23%とやや物足りない結果になったことは運営における創意工夫が足りなかったと反省する点でもあると思っております。

最後にオブザーバーに来て頂いた方も、自分の用事をキャンセルして来てくださっている方もおります、皆様も会った際には御礼を言って頂けると幸いです。

一月別活動報告

11月

スケジュール

2日(月) 第11回常任理事会
16日(月) 11月例会臨時総会
18日(水) 臨時常任理事会
18日(水) 11月定例理事会

11月担当例会 11月臨時総会

日時／2015年11月16日(月)

場所／十和田商工会館

参加因数／正会員：総会31名(外委任状5名)、懇親会29名

特別会員：総会9名、懇親会8名

担当委員会／総務局

【事業目的】

対外目的 総会を適法に運営することで、しっかりとした法人運営を行っていることをアピールする。

対内目的 総会を適法に運営して、上程議案を適法に決議する。

【事業目的達成の検証】

達成した点：適正な手続きで総会を開催、議案を審議できた。

達成しなかった点：時間が大幅に押ししてしまった。メンバーの出席と委任状を合わせて100%にできなかった

【委員長所見】

改めて時間管理の難しさを実感しました。今までの実績により時間予測をするのはもちろん、当日の担当者に時間をしっかり確認していただき、調整をするようにすべきだと思いました。

一月別活動報告

12月

スケジュール

2日(水) 第12回常任理事会
15日(火) 12月例会第6回定時総会
15日(火) 卒業式
17日(木) 12月定例理事会
28日(月) 臨時常任理事会
28日(月) 臨時理事会

12月担当例会 第6回定時総会

日時／2015年12月15日(火)

場所／富士屋グランドホール

参加因数／正会員35名(外委任状4名)、特別会員11名

担当委員会／総務局

【事業目的】

対外目的 総会を適法に運営することで、しっかりとした法人運営を行っていることをアピールする。

対内目的 総会を適法に運営して、上程議案を適法に決議する。

【事業目的達成の検証】

総会を適法に運営して、上程議案を適法に決議する。

【委員長所見】

総会については、時間・会場設営・内容共に満足できる出来だった。備品の前日確認、バッジ伝達対象者への事前連絡、役割指示、司会・議長・上程者への時間指示をしっかりと行え、みなさんにご協力頂いたおかげです。

卒業式

日時／2015年12月15日(火)

場所／富士屋グランドホール

参加因数／正会員35名、特別会員16名、八戸JC14名、三沢JC16名

担当委員会／総務局

【事業目的】

対外目的 卒業生と所縁ある方々と共に、巣立ち行く卒業生の歩みを知り、新たな門出を祝福して頂くため。

対内目的 (公社)十和田青年会議所にて、これまで長年支えあい励ましあってきた卒業される正会員の皆様の晴れの門出を祝福し、輝かしい未来へと送り出す。

【事業目的達成の検証】

達成した点：しっかりと思いを込めた卒業式を運営することができ、その思いが卒業生へ伝わった。

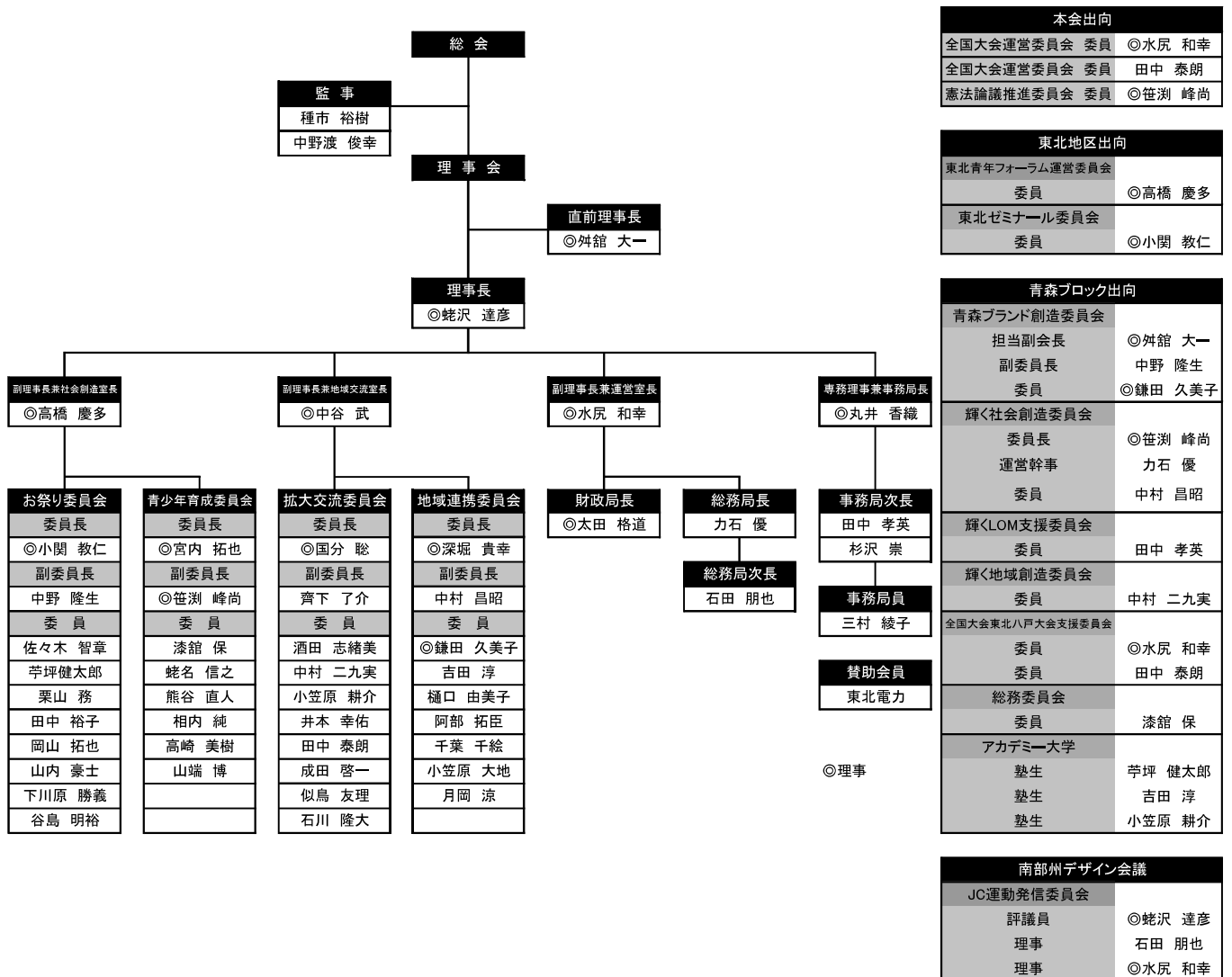
達成しなかった点：送辞・答辞の時間指定を怠り、大幅に時間が押した。

【委員長所見】

時間管理、懇親会席の失敗はあったが、PV作成・記念品内容等に始まり、素晴らしい送辞・答辞により思いのこもった卒業式を開催することができました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

贈 団 体 出 向 一 覧 表
(順不詳)

2014年度 公益社団法人 十和田青年会議所 組織図



物 故 会 員 名 簿

氏 名	生 年 月 日	物 故	勤 務 先	備 考
田 中 和 宏	昭和16年 3月19日	昭和50年11月28日	十和田タクシー(株)	
高 橋 康 男	昭和 9年10月27日	昭和53年 2月21日	高橋うどん店	第14代理事長
岩 間 迪 明	昭和16年 9月12日	昭和54年11月 3日	(株)岩間印刷所	第20代理事長
三 浦 明	昭和 9年 6月13日	昭和58年 1月23日	(株)ツタヤ工業	第13代理事長
伊 藤 文 雄	昭和10年 2月13日	平成 2年 3月26日	むら福菓子点	第15代理事長
村 木 邦 夫	大正11年 9月16日	平成 3年 8月30日	村木薬品(株)	初代理事長
石 川 敏	大正12年12月15日	平成 7年10月 9日	石川不動産管理(株)	第2・3代理事長
益 川 昌 彦	昭和 7年10月24日	平成 7年10月 9日	益川商事(株)	第9・10代理事長
佐々木 孝 志	昭和17年 8月 6日	平成13年 6月12日	ネノコウジ	
浅 原 善 康	昭和 3年12月16日	平成14年 2月 1日	浅原歯科医院	
向中野 由 吉	昭和14年12月11日	平成14年 4月 2日	(株)三本木タクシー	第22代理事長
小山田 芳 朗	昭和14年 3月 1日	平成15年 3月 5日		
安 藤 博 通	大正13年 2月25日	平成16年 5月24日	安藤産婦人科	第5・6代理事長
杉 本 圀 一	昭和17年 9月 9日	平成17年 3月 8日	(有)モードショップとーわ	
稲 本 重 二	昭和21年10月13日	平成17年 9月23日		
稲 本 純 一	昭和11年 5月26日	平成18年 3月15日	稲本商事(株)	第12代理事長
秋 元 雄 一	昭和21年10月 7日	平成20年 3月27日		
中川原 誠 三	昭和26年12月29日	平成20年 9月13日		
藤 森 剛	昭和17年 9月24日	平成21年 3月14日		第21代理事長
苫米地 伸 泰	昭和36年 7月26日	平成22年12月24日	トマベチ(株)	
大 友 英 治	昭和 9年 8月31日	平成24年 3月10日	大友陶器店	
小笠原 重 二	昭和23年 5月 5日	平成25年 9年16日	(有)小笠原国雄商店	
気 田 正 太	昭和49年 2月25日	平成26年 1月10日	日商(株)	
平 野 良 三	昭和21年 2月 4日	平成26年11月 4日		第28代理事長
深 瀬 新 次 郎	昭和 3年12月10日	平成26年12月26日	深瀬商会	第7代理事長
似 鳥 広 恭	昭和29年11月 7日	平成27年1月13日	(有)ニタドリ	

石 田 朋 也



経 歴

平成 20 年	交流委員会委員
平成 21 年	特命委員会委員 青森ブロック アカデミー大学塾生
平成 22 年	会員開発委員会委員長
平成 23 年	専務理事
平成 24 年	監事 東北地区東北ゼミナール 委員会委員
平成 25 年	総務委員会副委員長 東北地区総務委員会副委員長
平成 26 年	副理事長兼交流室長 南部州デザイン会議 J C 運動発信委員会理事
平成 27 年	総務局次長 南部州デザイン会議 J C 運動発信委員会理事

卒業にあたり

J C での 7 年半、皆様には大変お世話になりました。

入会して先ず驚いたのが皆さんの人前での堂々とした立ち振舞いです。理事長はもちろん委員長からフロアメンバーまでよどむことなく話す姿を見て、すごいところに来たなと思いました。私といえば人前に出ることは好きでしたが喋ることが苦手、笑われるのは得意だが笑わせるのは苦手等々、中途半端な完成度で、そのうち先輩のように完成された人間になるだろうと思っていましたがなかなか理想の完成形にはなりませんでした。あるとき私はハッと気が付きました。努力が必要かも。そこからは血のにじむような努力をするもなかなか完成形には至らず、苦悩の日々を過ごしました。もしかしたら J C 活動後半では入会当初の思い描いていた完成形を超えていたかもしれない。しかし青年会議所は恐ろしいところで、どんなに成長したと思っても人間としてトップになることはありません。それは理事長であっても。

そんな私にも訪れた卒業。私はついに卒業式の答辞で自分の思い描いていた完成形を披露し思いのたけをぶつけました。結果は「我未だ木鶏たり得ず」ありのままの自分を受け入れることにしました。

理事をやらせてもらった 3 年間は特に学びの多い年となりました。専務、委員長時は自分の能力を最大限に出してもそれ以上のものを要求されるととても過酷なものでした。でも楽しかった。

一番勉強になったのは副理事長。自分の頑張りではなく人を導き、人の頑張りを自分の喜びとするこの役職は今までにない経験をさせてもらいました。

でもやっぱり理事長やってみたかったなあ～。

小笠原 耕 介



経 歴

平成 27 年 拡大交流委員会委員
青森ブロック
アカデミー大学塾生

卒業にあたり

今年を振り返ると、忙しくも充実した時間を過ごせましたが、青年会議所をたった1年で卒業してしまわなければならないのが今年一番の後悔かと感じます。

青年会議所が何かもわからず去年の11月に入会を決めた時は…何かの宗教団体かと思い焦りました。何をしてるんだろう？何をやらなければいけないんだろう？目的がわからないまま教祖様(蛭沢理事長)の言葉を聞いて、とりあえずこの人の役に立とうと自分の目標を決めました。

拡大委員会に入ることになり、普段はあまりやる気を見せる事のない国分委員長、拡大メンバーと共に拡大全国1位を目標にした1年が始まりました。初めてメンバーとの共同作業、ウマジンの雪像作りは身体中が筋肉痛でした。普段はお酒を出す側なので自分も参加する二青会の交流会は楽しかった。青少年育成委員会のイベントにも仕事で行くことも多く羨ましく思っていました。青年会議所って市民のために自分の時間を削ってまで様々な運動しているんだ。なんて素晴らしい団体だと感じました。それを家族にも理解してもらうための花見も楽しかったです。

1年の半分以上が過ぎ…ふと気が付くと未だに1人も入会をさせてない自分がいました。同期の吉田くんの活躍を聞いて嬉しくも悔しくもありました。

今年は家業の肩書きも代表となり、青年会議所に入会し、B-1グランプリ全国大会もあり、秋祭りや青少年会議所全国大会などの大きなイベントが多く、ボランティアで指導しているミニバスのチームも目標であった全国大会を決める事が出来ました。そんな中でもピルゼンの仕事は好きで続けています。よく内縁の妻に「あなたは欲張りだ。器用貧乏は損をする。早く帰ってきなさい。」と言われながらも何で頑張っているんだろうと考えたときに…理事長の「学び」の言葉を思い出しました。

成績や成果は数字や形で見えたり記録に残るもの、自分の人としての成長はゲームではないのでレベルが上がったのかはわかりませんが、青年会議所の時間で得た体験が学びとなり自分の成長につながっているのではないかと思えました。

文章を要約するのが下手なのでダラダラとした内容になってしまいましたが、青年会議所での経験を活かし思い出と共に卒業します。みなさん、お別れするわけではありませんが本当に1年間ありがとうございました。

吉 田 淳



経 歴

平成 27 年 地域連携委員会委員
青森ブロックアカデミー
大学塾生

卒業にあたり

1 年間と短い期間でしたが、皆さんと過ごした期間はとても充実した 1 年間でした。

今年は八戸全国大会・B 1 ととても忙しい年でもありました。

皆さんの地域にたいする熱意また、行動力はこの私の心までも動かしました。皆さんのおかげで、ひとまわり成長出来たような気がします。ゴールデンゴングを貰った時はとてもうれしかった事を思い出します。

JC 活動がとても素晴らしい事だと、改めて実感しております。十和田 JC に入会して今では、本当に良かったと思っています。卒業してまだ数日しか経っておりませんが、今少し寂しい気持ちしております。

来年は 60 周年と今年よりも大変忙しくなると思いますが、皆さんの熱意と行動力で必ず成功に導く事とおもいます。かげながら応援しております。

今後いろんな活動があると思いますが、愛を持って人と接してください。

愛と言う文字は、真ん中に心と書きます。真心をもって接する事。それが一番かなと思います。

下心では無く、真心で活動される事を期待しております。

最後に、こんな俺を愛してくれてありがとう。

中 村 二九実



卒業にあたり

8年前「今日青年会議所の理事長が来るから」とOBだった父から言われ、なんのことか全くわからないままその場で入会申込書に記入したのが私のJCライフの始まりでした。

とりあえず月に一回の例会に参加すればいいのかと思っていたのですが、その他にもアカデミーや委員会、その他の事業がたくさんあり、十和田湖から参加している私はなかなか出席できない状況でした。特に夏から秋にかけての何カ月かは繁忙期のため毎年全く出られなかったため他のメンバーにはかなり迷惑をかけてしまっていたと思います。

途中でもう辞めようかと思ったこともありました。

それでも卒業まで続けてこれたのはやはり一緒に活動してきた先輩や仲間たちがいたからだと思います。

LOMの事業にもあまり出られないにもかかわらずなぜかほとんど毎年「名前だけでいいから」とブロックの委員会に無理やり出向させられたおかげで、参加した回数は少なくとも県内の他の地域のメンバーとのつながりもできました。高校を卒業してからしばらく地元を離れて戻ってきた私にはほとんど知り合いがいなくて、更に十和田湖ということもありもしJCに入会していなければ完全に山の中で引きこもりの生活を送っていたことでしょう。

8年間在籍した間に自分がどれだけ成長できたのかと考えると、正直あまり変わったという実感はありません。

しかしこの8年の間に2回の十和田でのブロック大会の開催、八戸での全国大会、拡大日本一の達成などすごいことを沢山経験できました。そのすごいことに自分が貢献できたことはほんのわずかでしたがそれを達成するために一生懸命動いていた他のメンバーを近くで見られたこと、その人達と知り合えたことが私がJCで得た一番素晴らしいものでした。

過ぎてみるとあっという間の8年間でしたが振り返ってみると楽しいことしか浮かびません。

ありがとうございました！

経 歴

平成 20 年	交流委員会委員
平成 21 年	総務委員会委員 青森ブロックアカデミー 大学塾生
平成 22 年	会員開発委員会副委員長 青森ブロックあおも リズム増強委員会委員
平成 23 年	総務委員会委員 青森ブロック誇り高きあ おもり実践委員会委員
平成 24 年	総務委員会委員 青森ブロック地域政策構 想委員会委員
平成 25 年	総務委員会委員 青森ブロック前進ある 未来確立委員会委員
平成 26 年	ブロック大会実行委員会委員
平成 27 年	拡大交流委員会委員 青森ブロック輝く地域創 造委員会委員



「こころ」に向き合ったその先には

第59代理事長 蛭 沢 達 彦

誰にでもある青春 いつか忘れて記憶の中で死んでしまっても
あの日僕らが信じたもの
それはまぼろしじゃない ない ない
SO YOUNG !!

THE YELLOW MONKEY「SO YOUNG」より

最後の学舎と称される青年会議所。そこは青春の場でもあります。一年間、自分、家族、仲間、地域のこころを信じて行動したこと。いつか他人の記憶からは消えてしまうかもしれませんが。しかし若さ故に出来たこと。それはあなたのこころに消えることなく残り続けます。もし迷うときがあったら振り返ってみてください。どこかほろ苦く、甘酸っぱい気持ちになることでしょう。あの日の青春と同じように。青春はいつだって始められるんです。

2015年度は大きな山を登るような1年が予想され、私はどうすれば乗り越えられるか悩んでいました。年々減少する会員数と多くのメンバーが3年以内に卒業予定のため、2018年度にはLOMが運営できなくなる可能性があること。9月には東北青年フォーラム in 二本松浪江出席、十和田市秋まつり中日「お祭り広場」運営、第64回全国大会東北八戸大会支援、10月にはB-1グランプリ in 十和田支援が予定されており、怒濤の1ヶ月間でメンバーが疲弊し、来年60周年を迎える大切な時にJCへの意欲が失われてしまうこと。私にはリーダーとしての強いカリスマ性はありません。過去に大業をなし遂げられた先輩方のように、自分の強烈な魅力でメンバーを引っ張り、山を登らせることはできません。過剰な答えは、メンバーの自主性を引き出し、その可能性に賭けることでした。ひとりひとりがこの十和田青年会議所を構成している当事者なのだと認識し、自分の意志で積極的に行動してもらうことこそが、大きな山を無事登り切り、さらに学びも得られる方法だと考えました。大切なのは「こころ」と向き合い、自分だけの行動する理由を見つけること。そして誰かのこころが喜んだ姿、つまり他人の「笑顔」を自分のこころのエネルギーにしてもらうことでした。自分の力不足をメンバーの力を引き出すことにより補おうという頼りない理事長ではありましたが、メンバーの皆さんはしっかりとこころを大切に行動し、想像以上の結果をもたらしてくれました。

お祭り委員会には、ウマジンワークショップとウマジンパレードを行っていただき、パレードでは目標を超える110名の参加者を集め、過去最大規模での実施となりました。そして、LOMの最大事業である十和田市秋まつり中日「お祭り広場」運営を行っていただき、本部前での喧嘩太鼓はかつてない盛り上がりとなりました。十和田の文化を推進させ、その魅力を大いに外部へ発信した委員会でした。

青少年育成委員会には、職業体験学習で子どもたちに地域の明るい未来を体感する機会を作っていただきました。募集定員の倍以上の申し込みをいただき、人集めに弱いJCという定説を覆してくれました。また、わんぱく相撲十和田場所運営と両国国技館への引率でも、子どもたちの健全な成長につながる貴重な経験をもたらしていただきました。さらに、60周年準備事業として未来の方向性決めと、子どもや父母へ記念誌に掲載するアンケートを実施していただきました。青少年の育成に広く深く関わり続けた委員会でした。

拡大交流委員会には、二青会と地ビール交流会 in 奥入瀬という会員拡大へ向けた交流会開催のほか、パンフレット作成と定期的に入会対象者と交流する機会を作っていただきました。その結果、会員拡大の年間目標15名を大きく超える21名が入会され、部門別では全国1位、総合でも全国3位となり、ゴールデンゴングを獲得いたしました。十和田青年会議所の名をこの地域のみならず全国の若者に知らしめ、さらに未来のLOMを支える人材を入会させてくれた委員会でした。

地域連携委員会には、地域の魅力発見事業として桜田マコト氏講演会の開催や、十和田の魅力普及啓発事業としてPV作成を行っていただきました。講話と歌を組み合わせた斬新な講演会や、地元出身アーティストとコラボしたアニメーションなど、これまでにない新しい試みばかりでした。そして、第64回全国大会東北八戸大会との連携事業では、メンバーへの情報発信やブースでの十和田バラ焼き提供の交渉などを行っていただきました。全国大会が八戸で開催される2015年度に特化してくれた委員会でした。

運営室内の総務局には、新年祝賀会、定時総会、臨時総会、卒業式、特別会員通信発行など例年と同じ担いのほか、JCスクールとして東北地区会長の佐藤一尚君を講師にお招きした例会を開催していただきました。財政局には、県の立ち入りを視野に入れた準備と、これまでの不備を修正していただきました。事務局には、一般的な事務業務のほか、会員拡大セミナーとして酒田青年会議所OBの鈴木篤先輩をお招きし、全メンバーへ会員拡大を絶対を実現する強い気持ちを与えていただきました。さらに、リーダー人材育成事業として津村柁広氏の講演を開催し、目標の100名を超える方々にいいね！の肯定感で地域を元気にする方法を教えてくださいました。また、おもてなし事業として二日間にわたるB-1グランプリ in 十和田支援を取り仕切っていただきました。私は少ない運営室のメンバーに例年と比べて多くの事業を担当させました。それは大きな山が想定される2015年度に、運営室が各委員会の盾となり背中を押す役となることで、各委員会が担当事業で確実に成果を上げてもらいたかったからです。結果のために身内である運営室へ多くの負担を強いる非情な判断でもありました。運営室のメンバーには本来の役割を超えたことを最後まで全うしていただきました。

第59代理事長として多くの場に立たせていただいたこと。私の力不足をお支えていただいたこと。一生の財産となる学びを得ることが出来たこと。全てのメンバーに、こころから感謝しております。ありがとうございました。「こころ」に向き合い続け、その先におぼろげながら見えたものは、「変わり続けることの大切さ」でした。次年度予定者が動き出し、ベテランや中堅と言われるメンバーと、去年の今ごろはいなかった新しいメンバーが、2016年度へ向けた取り組みを活発に行っている姿を見て、未来をもっと良くしたいと願う気持ちや、現状を変えようとする意志を強く感じました。私は全てのメンバーの気持ちが混ざり合った、うまくは言えませんが十和田青年会議所のこころのようなものから教えられました。「いまを変えよう」「変化を求め続けよう」と。もしかしら私の頼りなさが招いた反動なのかもしれません。先輩方から連綿と受け継がれてきた十和田青年会議所という変わらない器の中で、中身である私たちは変わり続け、私たちが卒業しても新たなメンバーが変化の種となり変わり続ける。その繰り返しが人口減少を課題とする地域にあっても存続する道であり、舩直前理事長が夢見た100年続く十和田青年会議所に繋がると思っています。

2016年度は十和田青年会議所が60周年を迎える節目の年です。勇気と覚悟を持って大役を担う理事長へ立候補してくれた水尻和幸君が、これまでお世話になった方々への感謝と、明るい未来への新しい道筋を示してくれます。2016年度も自分や仲間を信じ、若者らしく共に学びましょう。SO YOUNG !!



託す者として

直前理事長 舩 館 大 一

2015年度は蛭沢理事長の元、大変実り多き一年でありました。多くの新入会員が仲間に入り、日本青年会議所の会員拡大褒章で部門一位を達成しゴールデンゴングを獲得することが出来ました。また会員間の絆も深まり、あらゆる場面で協力し支えようという意識がより高まったと思います。それは2014年度を担った者として大変喜ばしいことであり、同時に誇らしくも思います。それはいつの時代においてもこの街を良くしたい、この組織を良いものにしたいという意志は変わらずに脈々と続いているからであると思います。

形態は変われど意志は変わらずに続いてく。これは私が去年一年間理事長という立場を経験して一番強く感じた言葉でありました。自分たちがこの青年会議所にいる意味、誇るべきもの、守らなければならないことそれぞれが詰まっているのが意志であります。そこで私が意識したのが嫌われ者になってでも十和田青年会議所としての意志を守るということでした。よって厳しいことやきついこと、叱咤することも度々ありました。それでもメンバーは腐ることなく一生懸命に取り組んでそれぞれが大いに成長いたしました。この大なる成長こそが青年としての誇りであり我々が集う意義であると信じております。2016年度はいよいよ60周年で十和田青年会議所も還暦を迎えます。この街を想い、この街のため行動し、60年間脈々と意志を繋いできた先輩の皆様に感謝し、新しい時代を築く担い手としてこれからも青年らしく行動し未来の青年たちに意志を繋いでいきたいと思っております。

十和田青年会議所に11年間在籍し活動してきた私もいよいよ来年にて任期満了で卒業となります。今までお世話になった十和田青年会議所に少しでも恩返しができるよう、良いチームの一員としてしっかりと支えていきたいと思っております。一年間ありがとうございました。



一年を振り返って

専務理事 丸 井 香 織

皆様、一年間大変おつかれさまでした。

今年度、私は蛭沢理事長のもと、専務理事兼事務局長という重要な役割を務めさせて頂きました。

2014年7月の予定者段階より少しずつ準備をしていたものの、年末から4月頃まで体調不良や都合によりJC活動に参加できないことも多く、水尻副理事長、太田財政局長を初めとするメンバーの皆様には大変なご迷惑をおかけいたしました。この場をお借りして心よりお詫びと、感謝を申し上げます。

さて、今年度は初めての試みとして、例年の「総務委員会」を「総務局」とし、そして「総務局」を含めた「運営室」で、激務と言われる専務、事務局の業務を、運営室副理事長の水尻君を中心に全体で分けるという取組みを行いました。この計画により、時間にも気持ちにも余裕を持つことが出来るのではと考えておりましたが、実際はジェットコースターに乗っていたかのような、非常に慌ただしい一年でした。

特に、「中日お祭り広場」、「第64回全国大会東北八戸大会」、「B-1 グランプリ in 十和田」と、1ヶ月の間に大きなイベントが3つあった9月、10月、またそれに伴う準備期間は、プレッシャーで夜は寝られず、自分の能力のなさを恨み、悔しくて涙は止まらず、本当に辛く、苦しい時期でありました。しかしながら終えてみると、その何倍もの感動と、学びと、気づきが得られました。「辛」という字に一本足すと「幸」という字になるということを身を持って経験させて頂いた時期であると感じています。

2012年度に拡大委員長をさせて頂いた頃からの夢でありました、全国大会の拡大褒賞の舞台で十和田JCが表彰されること、ゴールデンゴングを頂くことが出来たことも、心から嬉しく思っております。国分委員長をはじめとするメンバーの皆様、今年入会頂いた皆様に心から感謝申し上げます。運営側として、新入会員の皆様、メンバーの皆様に対してもっとサポート、サービスが出来ればよかったと猛省しております。この反省は必ず次年度以降の活動に活かしていきます。

この一年間、本当に濃く、貴重な経験をさせて頂きました。このような経験ができたのも、専務理事という役職を与えて下さった蛭沢理事長、支えて下さったメンバー皆様のおかげです。一年間、本当にありがとうございました。



一年を振り返って

副理事長兼社会創造室長 高橋 慶 多

2015年度は社会創造室（お祭り・青少年）の担当副理事長を務めさせて頂きました。副理事長を受ける際には初めて役職である事、両委員長ともに私より年上と言う事もあり、一年間無事に務められるのかと不安も有りましたが、多くのメンバーに支えられ一年を終える事が出来ました。

1年を振り返ると、年初には両委員会共に副理事長・委員長・副委員長を含めて総勢4人と言う少数精鋭から始まったのを覚えています。

それが、拡大委員会さんの『15人拡大』の拡大目標の下、次々と委員会メンバーが増え、お祭り委員会は総勢10名。青少年育成委員会は総勢8名と言う大所帯になりました。

私も8年JCに在籍していますが、これほど人数の多い委員会は初めての経験でした。ありがとうございます。

また、両委員長においては大所帯の委員会をまとめて頂き、大変感謝しています。

青少年育成委員会では『職業体験事業』を開催。多くの地元企業の協力を得ての開催でしたが、正直どの位、子供達が参加してくれるのかと不安でいっぱいでした。しかし、宮内委員長をはじめとする青少年育成委員会の力で実際には応募人数を大きく上回る応募があり、当日も大盛況の事業開催となりました。

お祭り委員会では小関委員長の下、多くのメンバーが集まり、委員会出席率が高く、毎回熱い議論を交わしていました。秋まつりでは前日が雨だったにも関わらず中日は晴天。委員長の日頃の行いの良さだと思いました。

初の試みとして行った本部前での『喧嘩太鼓』も大盛況。全体的にも大きな事故も無く無事に事業を終える事が出来ました。

最後に1年間副理事長という役職をやって、頼りない副理事長だったと思いますが、パワー溢れる両委員長と熱い議論を交わし、時には私の方が引っ張られたりもしましたが、楽しい1年間を過ごさせて頂きました。

一年間、支えて頂いた理事長をはじめとするメンバーの皆様。一緒に一年間頑張ってくれたお祭り委員会・青少年育成委員会の両委員会メンバーの皆様。ありがとうございました。



一年を振り返って

副理事長兼運営室室長 水尻 和 幸

日頃より当青年会議所運動に多大なるご理解とご協力を頂戴しておりますことをこの場をお借り致しましてお礼申し上げます。そして2015年、副理事長兼運営室室長を担当させていただく機会をくださいました蛭沢理事長、そしてメンバーの皆様には心より感謝申し上げます。

この一年を振り返りますと、運営室という初めての室、そして初副理事長ということで、新たに調べたり聞いてやらなければならないこと、総務室の事業以外にもやらなければならないことが多数あり、経験と学び、新たな発見が多くありました。今年度は丸井専務と二人三脚を組みながら理事会、常任理事会を設え、そして力石総務局長とともに、新年祝賀会、総会、卒業式、ホームページの管理、特別会員通信の発行を行いました。さらに私は本会の日本青年会議所全国大会運営会議にも出向させていただき、全国から集まったメンバーと共に全国大会東北八戸大会の成功に向けて一丸となって限られた時間の中頑張ってもらいました。その他、B-1 グルメ全国大会 in 十和田の開催、そして成功した会員拡大の拡大褒章ゴールデンゴングの獲得など、十和田青年会議所は大変忙しくも学び、経験、喜びが多い1年となりました。内容が濃く、様々なことがありましたので結果的には本当に楽しい2015年度でございました。

来年十和田青年会議所は創立60周年を迎えます。先輩の皆様が私たちに繋いでくれたこの歴史と伝統を次の時代へと伝えていくためにも、我々のこの組織を時代の変化に対応した柔軟かつ迅速な対応ができるよう今後も運営室は率先して行動していかなければならないと思っております。

今年1年間本当にありがとうございました。卒業までのあと2年、「明るい豊かな社会の実現」の為、さらに上を目指し頑張っていきたいと思っておりますのでどうぞよろしく申し上げます。



一年を振り返って

副理事長兼地域交流室長 中谷 武

本年度は、副理事長兼地域交流室室長として活動させていただきました。地域交流室は拡大交流委員会と地域連携委員会からなり拡大交流委員会委員長は国分君、地域連携委員長は深堀君に担ってもらいました。

拡大交流委員会は国分委員長と共に「会員拡大15名」を目標に掲げ、定例理事会・常任理事会ごとの拡大会議の開催、定期的なミニ異業種交流会の開催や3月に開催した「二青会」等でオブザーバーをお招きし、見事目標の15名を大きく上回る会員拡大を達成する事が出来ました。蛭沢理事長の会員拡大に対する熱い想いを受け、酒田青年会議所OBの鈴木篤先輩を講師としてお招きし開催していただいた衝撃的な2月例会の拡大セミナーでは、LOMの会員拡大に対する意識が一気に変わり、メンバーの皆様の協力のおかげで拡大褒章では20名～30名の部門別でなんと全国第1位！！また、全部門でも全国3位を獲得し、十和田JCの歴史に残るゴールデンゴングを獲得する事が出来ました。国分委員長には、昨年ブロック大会実行委員長をお願いし、本年も委員長職と2年連続一緒に活動して頂き本当に有難う御座います。君は素晴らしい！また、委員長を支えてくれた齋下副委員長をはじめとする委員会メンバーの皆様にも感謝しております。国分委員長は次年度も大変な担いがあるようですので、8月例会の地ビール交流会と私の事は忘れてさらにさらに飛躍して下さい。

地域連携委員会は全国大会東北八戸大会・B-1グランプリの対応をしながら、地域の魅力発見事業として開催した6月例会の「桜田マコト」氏講演会では十和田在住アーティストとしてこれまでの活動を振り返り、十和田の魅力を再発見することが出来ました。そして地域の魅力普及啓発事業として十和田市のプロモーションアニメを制作し、秋祭り・全国大会・B-1グランプリの場や、SNS等での発信をすることが出来ました。しかし、地域連携委員会メンバーには、理想の委員会活動が出来ない1年にしてしまったことを申し訳なく思います。この場をお借りして深くお詫び申し上げます。

今年は秋祭りの翌週に第64回全国大会東北八戸大会があり、その二週間後にB-1グランプリin十和田が開催されるという今までに無い貴重な経験をさせて頂く事が出来ました。また、副理事長兼室長兼委員長という今までに無い奇妙な冒険をする事も出来ました。やはりJCは修練の場ですね。この役職を与えていただきました蛭沢理事長をはじめ、メンバーの皆様、そして地域連携委員長に感謝致します。この経験をあと2年のJC活動に活かして行きたい？と思います。1年間、本当に有難う御座いました。



一年を振り返って

お祭り委員会委員長 小関 教 仁

今年一年を振り返りますと、お祭り委員会では二つの大きな公益事業がございました。

一つは毎年、文化推進事業として行っている十和田市秋まつりの中日「お祭り広場」の運営、もう一つは地域の魅力発信事業として、十和田JCのキャラクターとして定着したウマジンを使った市民との交流型事業「ウマジンワークショップ」の開催、そしてそのワークショップに参加された市民と共に、中日「お祭り広場」でウマジンPRするウマジン100人パレードを開催しました。

ウマジンワークショップはお祭りまでに3回開催し、それぞれを「ウマジンを作る」「ウマジン山車を作る」「ウマジンで踊る」とテーマを振り分け楽しむことを意識して市民と交流し、ウマジンのもつ魅力を共に体感できたと思います。

中日「お祭り広場」でのウマジンパレードでも目標の100人を超える110人を集めることができ、工夫を凝らした踊りやパフォーマンスで多くのお客さんにウマジンの魅力を発信できたと思います。

中日「お祭り広場」の運営に関しましては、昨年より参加団体が2団体増えた今年は大きな試みをしました。

山車運行の2週目(夜間運行時)の本部前で喧嘩太鼓を公式で行うという試みでしたが、2週目に本部前に快く待機してくださった中央町内会さんをはじめ、多くのメンバーの力を借りて何とか成功できたことは本当に嬉しく思いますし安心いたしました。

お客さんの盛り上がりも最高潮で「これぞお祭り！」といった感じでしたので、引き続き来年以降も何とか続けてほしいと個人的には思います。

十和田囃子競演会におきましても、昨年より2団体増えた19団体の参加となり綿密なスケジュール管理や安全面への配慮が問われましたが、兄弟委員会の青少年育成委員会委員長の宮内委員長の指揮のもと、競演会担当チームが素晴らしいまとまりを見せ、何ら問題なくスムーズに進行することができました。

今年は十和田市長にも最後まで観覧していただき、予選で番狂わせが起きるなど、こちらも大変白熱した盛り上がりを見せたと思います。

今年の十和田JCは会員拡大が成功し、新入会員がメンバーの約半分を占めましたが、ベテランと新人が要所要所で上手く協力し助け合い、大きな問題もなくお祭りを無事終えられたことに各参加団体、関係者様、そして十和田JCメンバーに深く感謝を申し上げまして私からのご挨拶とさせていただきます。皆様、ありがとうございました。



一年を振り返って

拡大交流委員長 国 分 聡

本年度は蛭沢理事長の最大の目標の一つであった「会員拡大の成功」を真正面から受け止めなければいけない拡大交流委員会の委員長として一年間活動させていただきました。会員拡大の結果から申しますと、11月末時点で20名の入会者を迎えることができ、全国大会の拡大褒賞にてゴールデンゴングまで受賞することができました。最終的には当初の目標であった会員拡大15名というゴールよりも素晴らしい形で終わることができましたが、その道程は思い描いていた理想を超える素晴らしいものでした。

いざ責任重大なポジションに立ったものの、自信も方策も不安定な状態でスタートを切り、これからどうやって拡大を進めていこうかと思い悩んでいた2月、拡大セミナーの講師としていらっしゃった酒田J.CのOBである鈴木先輩のお話を拝聴しました。会員拡大は理事長が先頭に立ち、メンバー全員の力を集結させることが必要だ。そしてその体制を作るのがお前の役目だ。そして掲げた目標を達成できない奴はただの嘘つきだと言われた時、自分の目指すべき道筋がハッキリと見えた感覚が湧きました。十和田J.C一丸となって蛭沢理事長を全国大会拡大褒賞の舞台に立たせる！—それに向けて全員で動き出した日々は、自分ひとりでは絶対に起こし得ない躍動に満ち溢れたものでした。本年度を通して私が強く実感したことは、蛭沢理事長のスローガンでもある「こころ」を込めて周りの人たちにお願いすることの重要性です。周りの力を借りるために本気でお願いして本気で感謝すること、そしてそれは自分ひとりの力だけで完結させるよりも遥かに難しいものだと痛感しました。その重要性は会員拡大だけでなく3月・8月の交流事業においても同じでした。特に8月例会においては一人で抱え込み過ぎたせいか、失態のオンパレードで会員拡大の成功を台無しにするレベルでした。この場を借りて謝罪します。

結びとなりますが、一年を通して担当副理事長として私を導きながら、ご自身でもしっかり拡大の結果を残すというバケモノ級の活躍を見せて下さった中谷副理事長。会員拡大だけでなく事業の下支えから様々な場面で尽力していただいた齋下副委員長。そして最後まで共に運動していただいた中村二九実委員、酒田委員、小笠原耕介委員、田中泰朗委員、井本委員、成田委員、似鳥委員の拡大交流委員会メンバーには感謝しかありません。そして全ての皆様にこれだけは言わせて下さい。本年度は私のような未熟者に皆様の力を貸して下さいありがとうございました。一生掛かってこの借りは返し続けます。大きな声でもう一度言います。本当にありがとうございました！



青少年育成委員会を通じた一年

青少年育成委員長 宮 内 拓 也

早いもので、2015年度の活動や事業も12月を迎え終わろうとしております。

私達青少年育成委員会は、蛭沢理事長の掲げたスローガン「こころ～笑顔のために」のもと委員会テーマ「情熱」を胸に刻み走り出しました。青少年育成活動は地域子どもたちに未来への夢と希望を与える事を目的として、地域、学校そして青年会議所が連携をとり、いかに意義のある活動を地域子どもたちに与えられるかが重要となって参ります。

思い返せばまだ雪が降り頻る1月上旬、高橋副理事長、笹渕副委員長、蛭名委員、漆館委員の5名で委員会をスタートさせた事を今ではとても懐かしく思います。一つの事業を創るために毎週集まっては、何回も何回もアイデアを出し合い納得いくまで話し合いそれでも方向性は決まらず、焦る気持ちばかりで先を見失うようなこともありました。それからというもの1日1日が目まぐるしくも1時間位にも感じる程濃密な毎日でもありましたが、後から熊谷委員、相内委員、山端委員、高崎委員の4名が青少年育成委員会に加わり委員会メンバーは9名に増え、とても頼もしいものとなってまいりました。

5月の職業体験は委員会メンバー9名はじめ十和田青年会議所全てのメンバーがこの事業準備から当日に至るまでに全力で協力してくれました。前日の準備においては会場の設営など作業は深夜まで及び、それぞれ相当疲れているはずなのにそれでも愚痴の一つも言わず細部に渡る準備が終わるまで取り組んでくれたのを思い出すと今でも胸が熱くなります。

この職業体験事業はとても大きなものでしたが、委員会メンバーはじめ、十和田青年会議所メンバーの方々（こころ）を一つに協力してくれたからこそ地域子どもたちに大きな夢と希望を与え無事に終える事が出来たと思います。この一年間は全ての方々（こころ）に感謝しかありません。

私自身不甲斐ない委員長で、なかなか青少年育成委員会メンバーの導き役にはなれず逆に教わる事ばかりで沢山の負担もかけてしまいましたが、言えることは一つ青少年育成委員会この9名のメンバーそして、青年会議所全メンバーと2015年という1年を共に活動出来た事は一生の宝です。1年間本当にありがとうございました。



一年を振り返って

地域連携委員長 深堀 貴幸

本年度は特需により発生した委員会である”地域連携委員会”の委員長をやらせていただきました。

前例のない委員会で、(公社)八戸青年会議所と連携して副主管LOMとして(公社)日本青年会議所第64回全国大会東北八戸大会の運営補佐を行ったり、地域の魅力を発見し、それをいろいろな手段で配信する等の事業を行いました。これまでは一昨年は事務局長、昨年は財務局長と二年連続で事務方をやっていて、委員会より離れていたことや、初めての委員長だったため、何をやっていいか全然分からない状態だった点や、委員長なのに事業や理事会に出席できない等で、中谷室長や委員会のメンバーにはたくさん迷惑をかけてしまいました。

でも、たくさんの方々からいろいろ助けられ、この一年を乗り切ることができました。

さて、本年度一年を詳しく振り返ってみますと、いろいろなことがありました。

地域の魅力を探すために委員会のメンバーよりの意見を吸い上げていた際に雑談をしていたところ、”映像化して配信してみたら面白いのでは”との意見があったことから始まったPV作成や、本会よりの指示がない状態で、概要のつかめないまま臨んだ全国大会の説明会等、今思い起こしてみればいい思い出になりました。

公益事業に関しては、昨年の財務局長の際にいろいろ勉強していたのですが、いざ委員長として公益事業をやることになってみると、法律や法令などを守りながら内容を決めて実行する点や実行する際のチェックポイントなどいろいろな部分で引っかかることが多々あって委員会のメンバーへの指示が遅れてしまったことも多々ありました。それをカバーしてくれた委員会のメンバーには頭が上がりません。本当にありがとうございました。本年経験したことを糧として、来年度よりのJC活動を行っていきたいと思います。

最後に、いろいろご迷惑をかけた皆様や教えていただいた皆様、大変ありがとうございました。